

英語科 学習案内

【学習目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容	
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット ・be 動詞を使った文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・一般動詞を使った文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・名詞の複数形 ・指示する文と提案する文 ・疑問詞を使った疑問文と応答文（what/how many/who/what time/which/where/whose/when） ・現在進行形の文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・否定の命令文と Be で始まる命令文 ・助動詞 can を使った文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・一般動詞の過去形の文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・代名詞、形容詞 ・動名詞、to 動詞（不定詞名詞的用法） ・look 形容詞の文 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○海外宛ての送り状を書く ○自己紹介で共通点・相違点をみつける ○持ち主を探すやり取りをする ○注文のやり取りをする ○説明文を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリームファミリーの紹介 ○ウェブサイト(必要な情報を探して読む) ○リポートから、現地の様子を聞き取る ○物語を読む ○学校行事の紹介ページを作る
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞の過去形を使った文 ・未来を表す be going to ～の文 ・call+A+Bの文 ・have to ～／don't have to ～の文 ・助動詞 will / must / must not ～/ should を使った文 ・接続詞 if / that / when / because を使った文 ・There is [are] ～の文（肯定文・疑問文と応答文・否定文） ・動名詞（目的語・主語） ・受け身 ・want+人+不定詞 ・過去進行形の文 ・look+形容詞の文 ・show, give, buy, teach など+人+もの の文 ・不定詞（副詞的用法・名詞的用法・形容詞的用法） ・比較表現（比較級・最上級・同等比較[as...as～]） ・make+人（もの）+形容詞 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○Show and Tell（春休みの思い出のスピーチ） ○日記 ○ていねいに許可を求めたり、依頼する表現 ○メール（日常生活での出来事） ○将来の夢（スピーチ） ○電話での会話（取り次ぎをたのむ表現） ○アナウンス ○レストラン（注文や依頼の表現） ○職業診断チャート ○音声ガイド ○日本紹介（スピーチ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○道案内・観光案内（乗り物での行き方をたずねたり、教えたりする表現） ○詩 ○町紹介（スピーチ） ○買い物（自分の好みや要望を伝える表現） ○自分の好きなこと・もの（スピーチ） ○単位 ○体調不良（体調を尋たり助言をする表現） ○世界を舞台に働く人を知る ○世界遺産巡り

3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の文（平叙文・疑問文と応答文） ・tell+人+that ・現在完了進行形 ・関係代名詞を用いた文 ・接触節を用いた文（名詞+現在分詞・過去分詞） ・仮定法(If I could~, I would/I wish you weren't) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○記事を読む／意見を発表する ○ディスカッション ○留守番電話 ○出来事や気持ちを伝える ○要旨を捉え、感想や考えを伝え合う ○必要な情報を読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・let+人+原形不定詞 ・現在完了形の文（継続・経験・完了） ・It is ... (for+人)+動詞の原形の文 ・疑問詞+to+動詞の原形 ○スピーチを聞く／する ○スピーチの要点を捉え、考えを伝え合う ○手紙を読む／書く

【観点別の目標と評価の視点・方法】

観 点	目 標	評価の視点・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・リスニングテスト ・音読テスト ・単語テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることが出来る力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・スピーチ ・英作文課題 ・教師や ALT とのやりとりのテスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語による教師や生徒同士の応答（コミュニケーションを続けようとする姿勢、あいづち、質問ができるか） ・ワーク ・ノート、プリント

【授業時数】

学年	週当たりの時数
1年生	4
2年生	4
3年生	4